

2025年度

二チイキッズ富安保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月9日（金）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月19日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもが自分の思いを表現し主体的に活動できるよう、子どもの興味や発想を取り入れたりじっくり遊べるような遊びの提案や環境、時間設定を考えたりし、柔軟に対応するようにした。子どもたちが「またしたい！」と期待を持ち、思いきり遊び込めるような関わり、環境の工夫をしていきたい。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの姿を把握し個々に合わせた遊びの設定をしたり、安心感をもって生活できるように関わったりしていくよう心掛けた。職員間で、また保護者とも個々の姿や発達についての捉えを共有して今必要な援助や関わりを考え実践するようにしていきたい。
保護者に対する支援	園・家庭での子どもの姿についてこまめに伝え合い、全職員が子どもの様子を把握し送迎時に保護者との細かいやりとりができるようにした。保護者の思いを尊重しながら園・家庭ともに子育てをしていけるよう気軽に相談できる場、地域の子育て支援の場となるようにしていきたい。
保育を支える組織的基盤	職員間での声掛けや協力体制をとり、子どもが安心して過ごすことができるよう連携をとるようにした。今後も保育計画や子どもの姿、配慮事項などの情報を共通理解して保育にあたっていきたい。また、様々な研修に参加し内容を職員と共有して保育に活かしていきたい。

総評
<p>子どもの姿や発達に合わせた遊びの提案をし、満足するまで楽しむことができるよう環境設定や保育者の関わりを見直しながら保育を行い、子どもの興味に合わせた様々な“ワクワクする”経験を通して個々の成長・発達を援助するよう心掛けた。保育園で安心して過ごせ、保育園に行くことが楽しみになるよう一人ひとりの子どもの思いに寄り添い丁寧に関わっていくようにしたい。また、職員間で保育についての思いを共通理解し保育の質を高めていきたい。</p> <p>保護者や地域との関わりをより密にとり、地域の子育て支援の場として情報発信の役割をしっかりとっていけるようにしていきたい。</p>